

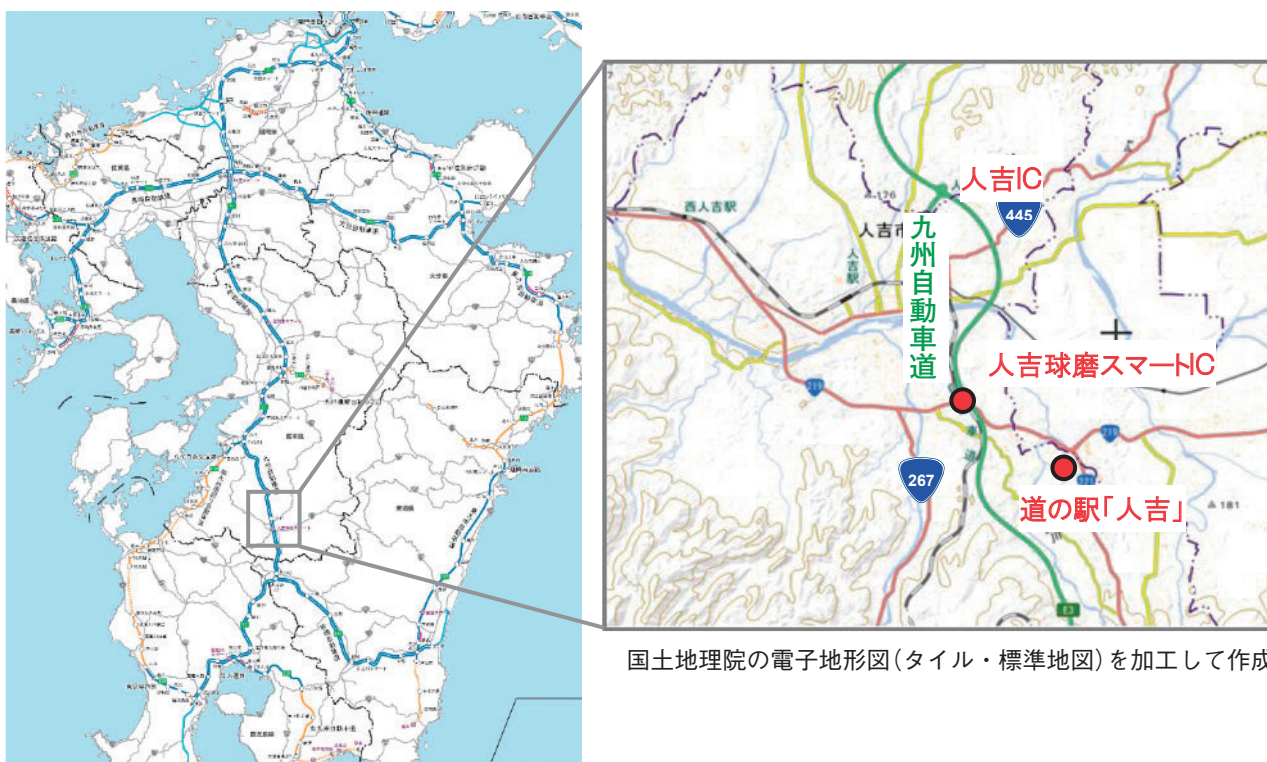
# 人吉球磨スマートインターチェンジの 開通と道の駅「人吉」開駅について

人吉市 建設部 都市計画課

## 1. はじめに

人吉市は、熊本県南部に位置し、南は鹿児島、宮崎両県に接しており、九州山地に囲まれ、市の中心部を日本三急流の一つ球磨川が東西に貫流する、人口約3万3千人、面積210平方キロメートルの都市です。

人吉球磨地域は、鎌倉時代から明治維新までの約700年に亘り、相良氏が統治した全国でも珍しい地域で、平成27年には、『相良700年が生んだ保守と進取の文化～日本でもっとも豊かな隠れ里一人吉球磨～』をストーリーとして日本遺産に認定されました。九州の小京都でもある人吉は、日常を離れ、四季折々の五感に感じる様々な雰囲気を奥深く味わうことができます。



## 2. スマートインターチェンジの整備について

人吉球磨スマートインターチェンジが位置する人吉球磨地域は、四方を九州山地の険しい山々に囲まれた盆地に位置し、他地域と地理的に隔絶されている一方で、古くから一体となって地域を創ってきました。九州自動車道の開通以降、当該地域の広域的な拠点性を高める基盤整備は進んだものの、当該地域の人口減少は急激に進行し、産業の開発の程度が低く経済が停滞しており、地域を構成する多くの市町村が低開発地域工業開発地区や過疎地域に指定されている状況です。



このような局面を打開すべく、人吉球磨地域では、新たな企業誘致、地場産業の活性化、農林業の振興、観光振興などにより、一体的な浮揚を目指していました。

そのような中、当該地域には九州自動車道と連結する人吉インターチェンジが設置されているものの、地域の約三分の一の人口が沿道に集積する国道 219 号と直結していないため、特に人吉球磨地域東部から高速道路へのアクセス性が悪い状況となっていました。

そのため、平成 21 年 3 月に人吉球磨全域の 10 市町村による『人吉・球磨スマートインターチェンジ整備促進協議会』を設立し、以来、一丸となって要望活動を展開してきました。

その結果、平成 26 年 8 月に国からスマートインターチェンジの連結許可をいただき、その後、西日本高速道路株式会社と整備事業を進め、令和元年 8 月 10 日に開通を迎えることができました。



こうして開通した人吉球磨スマートインターチェンジは、人吉球磨地域東部につながる国道 219 号に接続しており、九州自動車道の人吉インターチェンジから南に 3.8km の場所に位置しています。

運用は 24 時間、対象車種は ETC 車載器を搭載した全車種のフルインターチェンジとなっています。



### 3. 道の駅の整備について

道の駅「人吉」は、人吉球磨スマートインターチェンジが直結している国道219号から東に約1.5kmの場所に位置し、国道など主要道路が集中している箇所に位置しています。

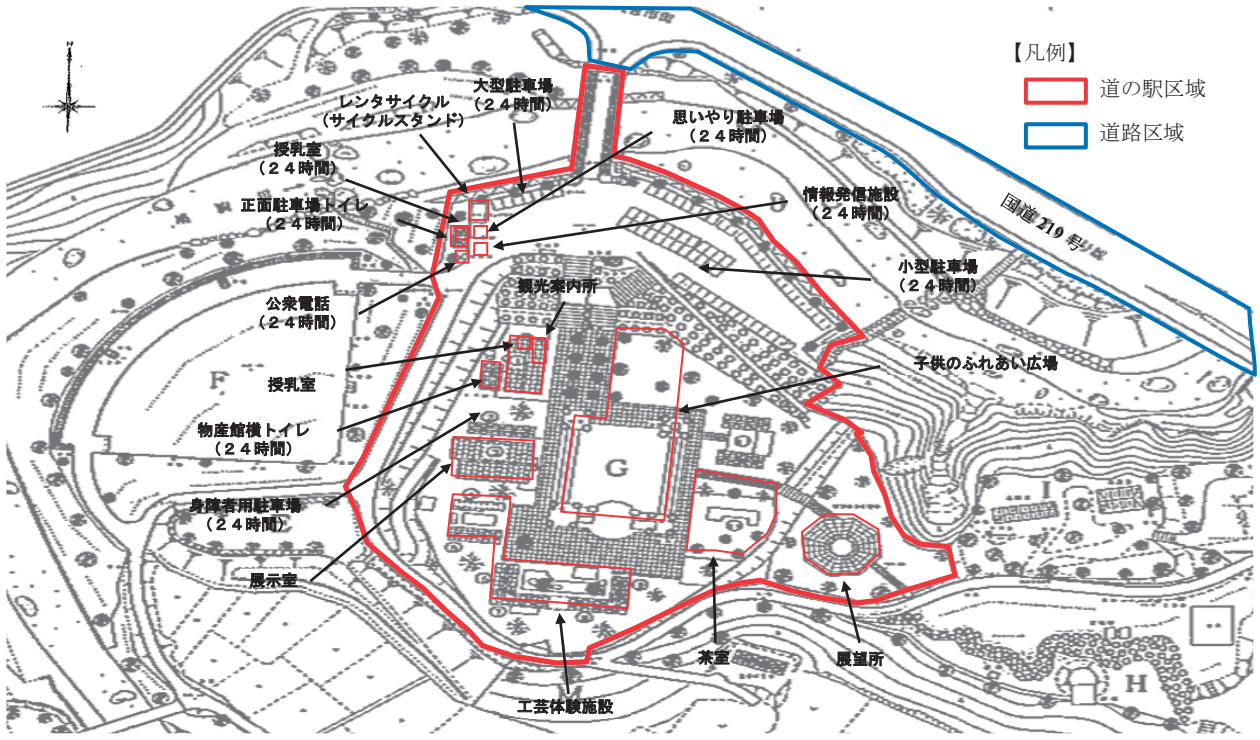
そのため、休憩や観光の拠点として最適な位置であり、体験型施設として外国人観光客の受け皿としての特色も持っております。

#### 【施設概要】

敷地面積：約14,000㎡

施設名称	概要
駐車場	大型車7台、小型車87台、身障者用4台
公衆トイレ	<b>【正面駐車場】</b> ・男（小）3器、（大）1器 ・女3器 ・身障者1器 <b>【物産館横】</b> ・男（小）9器、（大）3器 ・女9器 ・身障者1器
情報提供施設	<b>【正面駐車場】</b> ・情報掲示板及びQRコードによる道路交通情報や災害、観光情報等の提供（くまもとフリーWi-Fi利用可） <b>【物産館内】</b> ・パンフレットによる観光情報等の提供 <b>【観光案内所・JNTO認定外国人観光案内所】</b> ・スタッフによる道路交通情報や災害、観光情報の提供 ・タブレットを用いた通訳での外国人観光客への観光情報などの提供
子育て応援	<b>【正面駐車場公衆トイレ】</b> ・24時間利用可能な授乳室1箇所 ・妊婦向け屋根付き優先駐車場1台 <b>【物産館】</b> ・授乳室1箇所 ・おむつのばら売り <b>【おまつり広場】</b> ・子供のふれあい広場
工芸体験施設	人吉の伝統文化の工芸体験ができる施設
物産館	お土産、工芸作品の販売
展望所	道の駅全景を見渡すことができる



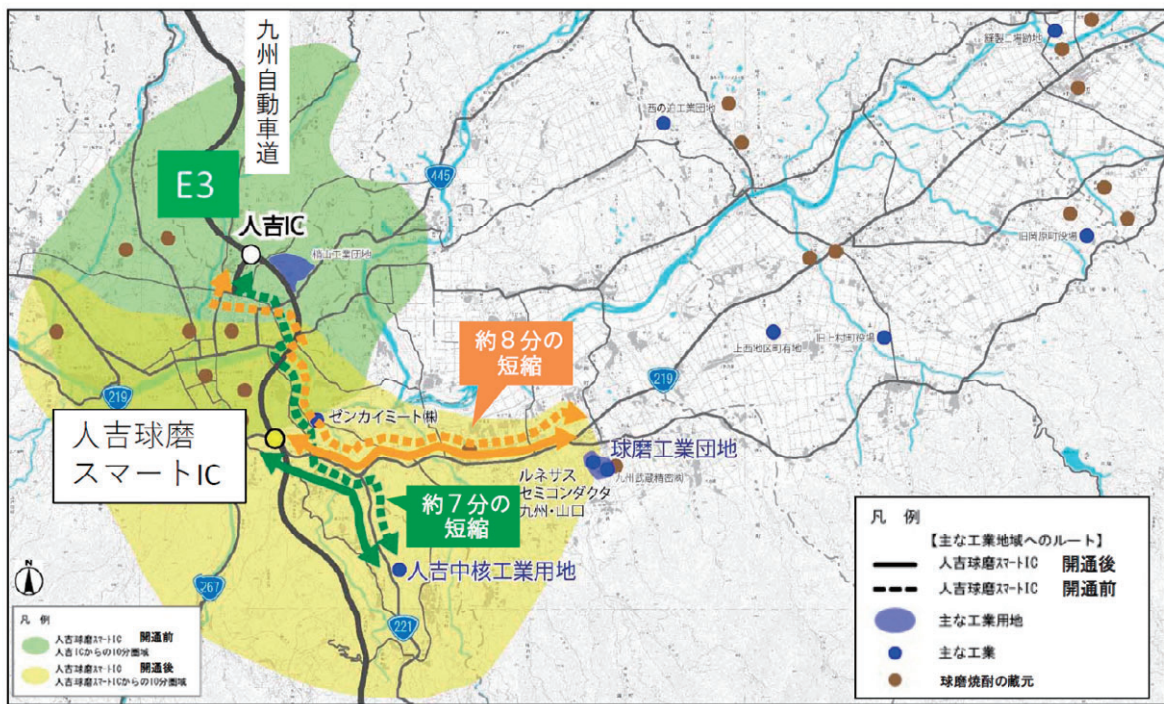


道の駅「人吉」施設配置図

## 4. 整備効果について

### ① 産業振興による地域活性化支援

人吉球磨スマートインターチェンジの開通により、人吉球磨地域東部の工業団地や人吉南部の中核工業用地及び球磨焼酎の蔵元までの所要時間が短縮し、10分以内で到達することができることから、物流の効率化や企業誘致が見込まれます。



■ 人吉球磨スマートIC開通前と開通後のルート比較

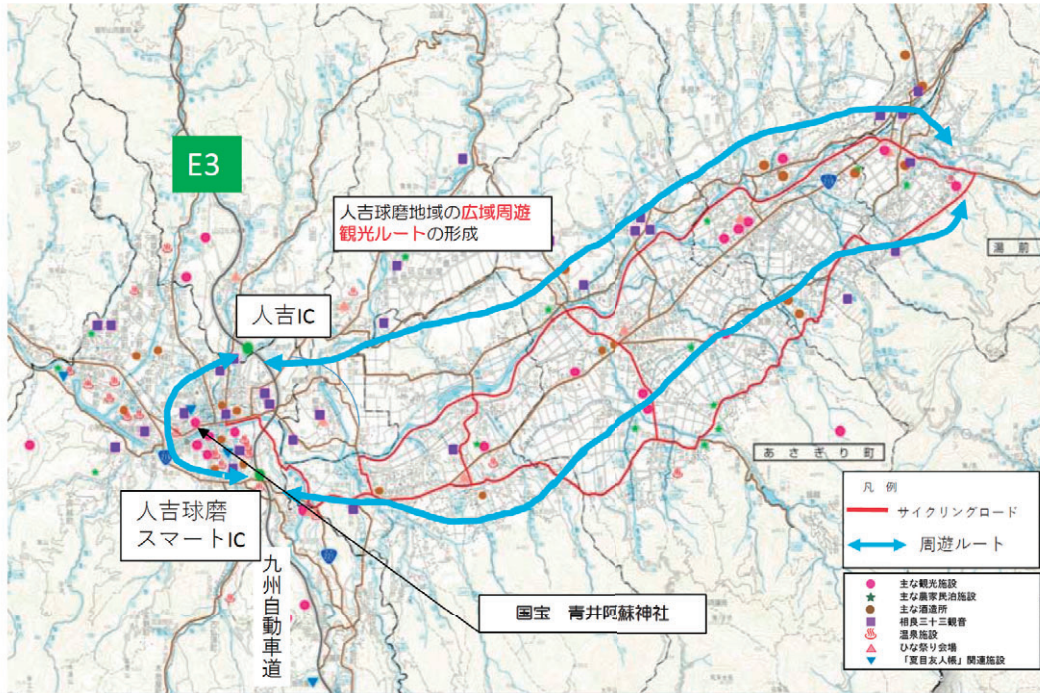
※所要時間は平成22年度道路交通センサス昼間12時間平均旅行速度より算出。市道等の非観測の一般道は30km/hとして算出



## ② 観光振興の支援

国宝青井阿蘇神社、相良700年が生んだ保守と進取の文化「日本遺産」など豊富な資源がある圏域全体へのアクセス性が向上します。

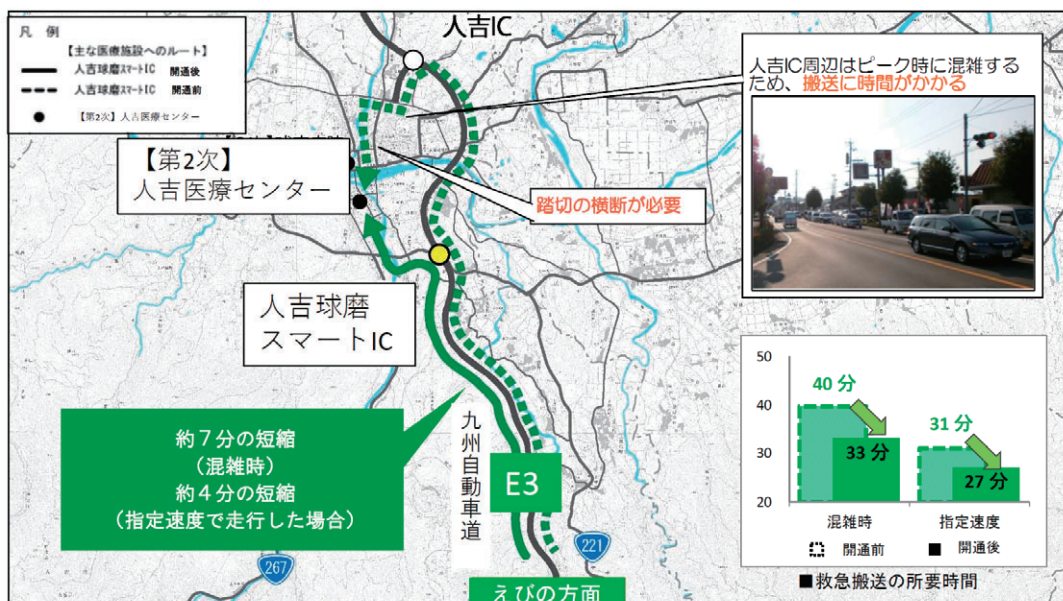
また、スマートインターチェンジの開通により、広域周遊観光ルートが形成しやすくなり、宿泊型観光の活性化が期待されます。



## ③ 緊急医療の支援

第2次救急医療施設の人吉医療センターでは年間約200人が高速道路を利用して搬送されています。人吉インターチェンジ周辺の道路は朝夕時などピーク時の混雑が激しく、踏切の横断も必要なため、緊急車両が走行しにくい環境です。

スマートインターチェンジの開通により、人吉医療センターへの搬送時間が短縮でき、患者の負担軽減が期待されます。



#### ④ 一時退出 社会実験について

人吉球磨スマートインターチェンジは、一時退出を可能とする「賢い料金」の社会実験を行っています。

道の駅「人吉」への立ち寄りを可能とすることで、休憩や、周辺の交通観光情報の入手など多様なサービスが利用できます。

## 5. おわりに

令和元年8月10日に人吉球磨スマートインターチェンジの開通と、道の駅「人吉」の開駅を迎えたところです。

開通・開駅から1ヶ月を経て、まだまだ目に見えての効果というものは、見られませんが、週末などはスマートインターチェンジの計画交通量を上回る日があるなど順調に滑り出していると感じているところです。

今後は、将来計画交通量を2,900台/日と見込んでいることから、利用促進に向けた取り組みをより一層展開していく必要があるものと考えています。

また、道の駅「人吉」については、既存の施設を登録したことから、今後は、ソフト面の充実などを図りながら、地域住民、まちづくり団体などを巻き込んで地域活性化につなげていければと考えています。